

主な施策内容	予算額
ゆつたりかん周辺緑地造成事業	188,500千円
中山間地域等直接支払交付金	58,233千円
多面的機能支払交付金事業	54,043千円
水利施設整備事業(沖内地区)	29,516千円
町有林整備事業	20,735千円
中小企業特別融資制度預託金	20,000千円
商工業振興事業補助金	12,900千円
森林管理道三軒屋線林道開設事業	10,625千円
特産品振興支援事業補助金	10,000千円

立寄って頂き「にぎわい」の創出が図られ、加えて本年は新たな顔として「ヤン衆広場」が供用開始となるため番屋での体験事業の実施、さらには小平地区に整備中である「おびまる広場」の四季を通しての魅力を構築する等、地域振興、観光推進、交流の場として町民を初め町内外の関係機関との連携協力や提案を十分反映し、施設の有効な活用を進めます。

●農業委員会との連携については、農業委員会法の改正により、本年4月から農業委員が公選制から選任制に変更となり、小平町においても平成29年7月の改選期から法適用となるが、遊休農地の発生防止、農地流動化対策など、引き続き情報共有と連携を密にし、農用地の荒廃を防止し、将来を見据えた農地の集積化を図ります。

## 生活環境施策

●平成25年4月よりスタートした新たなごみ処理は3年が経過しようとしており、殆ど適正に分別されていますが、昨年留萌南部衛生組合において実施された「プラ製容器、紙製容器の資源ごみ」の分別調査において不適物の混入が多い状況となっており、分別に対して町民皆様の更なるご協力をお願いします。

なお、高齢者や障害者等の世帯でごみ分別が困難な世帯に対しての分別処理事業については、平成26年度より町において分別処理を実施しており、現在17世帯の町民が利用され、平成28年度におきましても分別処理を継続実施します。

●橋梁の整備については、「社会資本整備総合交付金」橋梁長寿命化修繕工事として、旭大橋など5橋の工事を予定しており、計画に沿って順次工事を実施します。

●道路・橋梁・河川等の維持管理においては、主要幹線道路ストック総点検を踏まえ、道路法面や付属物の修繕や補修を実施するとともに、パトロールの強化や各町内会からの要望に基づいた現地調査を行い、町民皆様の安全・安心な生活や交通環境の確保に努めます。

冬期間の町道除排雪事業については、降雪や積雪など道路状況に合わせ、交通と快適な住民生活を確保するため、効率的な除排雪を行います。

●住環境の整備は、総合的な住宅施策である「小平町公営住宅長寿命化事業」の計画に、給湯器やユニットバスが未整備な住宅を整備する内容を加え、平成29年度より国の交付金を取り入れた中で、計画的な住宅の改修工事を進めます。

また、昨年度から3カ年の予定で「小平町住環境整備費助成金制度」、更には、後継者、子育て又は移住者を支援し、かつ町内経済の振興を図るため、住宅の新築又は増改築の費用の一部を助成する「小平町住宅新築等助成金制度」を継続します。

●下水道の施設整備計画区域内における水洗化の普及率は現在78.9%で年々増加していますが、今後さらなる加入の普及促進を図り、適正な事業管理と施設維持管理のもと、地域住民生活に支障のないよう適切な運営に努めます。

●水道事業では、水道施設の老朽化に伴い本年度、水道施設更新計画を策定し、浄水場の整備や統合の検討を図るとともに、送水管に係る水管橋などの老朽管を改修します。

●交通安全対策では、昨年10月24日と、先月13日と続けて交通死亡事故が発生

し尊い人命が失われたことは、大変残念な事でありました。悲惨な交通事故の撲滅に向け、町交通指導員の皆様や関係機関・団体と密接な連携により、町民一人ひとりが「事故に遭わない・事故を起こさない」との基本認識のもと、家庭・職場・地域が一丸となった交通安全運動を展開します。

●防犯対策では、振込め詐欺等の高齢者を狙った悪質な事件が、次々と手口を代え巧妙化し発生している実態から、高齢者の多い当町におきましても憂慮すべき状況にあると認識しています。

今後も連合町内会や福祉機関・警察等が連携し、高齢者世帯の見廻りや声かけを行いながら、地域主体型の活動を支援し、地域の子ども達や高齢者が安心して生活できる町づくりに努めます。

●空き家対策では、平成26年度より解費の補助制度を新設したところ、これまでの2年間で30件の解体が実施されましたが、本年度が支援の最終年となつているため、制度の活用について積極的に周知します。

●消防体制では、昨年度は水槽付ポンプ自動車の再配備を行い、消防体制の復元強化を図りました。

また、油圧救助資器材の配備を行い、交通事故等の救助事業について、更に迅速な救助に対応する体制を整え、本年度は、小平消防団の体制強化を図る